

平成26年度実績概要

鎌倉市市民活動部 観光商工課

I 平成 26 年度の実績概要

平成 27 年夏、鎌倉を舞台に 4 姉妹の日常生活を描いた映画『海街 diary』が公開され、あらためて鎌倉の風光明媚な美しさが再認識されています。また、2020 年（平成 32 年）東京オリンピック・パラリンピック夏季大会では、隣接する藤沢市の江の島ヨットハーバーが競技会場に選定され、鎌倉、逗子にまたがる海浜地域に内外からの注目が集まっています。

平成 26 年度を振り返ると、観光庁、日本政府観光局（JNTO）を中心とした、観光立国実現を目指したインバウンド活動の取組みに、アジア地域の経済成長に伴う海外旅行需要の拡大や、円高による訪日旅行の割安感などが重なった効果もあり、訪日外客数は過去最高の 1,341 万 4 千人に上りました。一方、前年に過去最高の 2,300 万人超を記録した鎌倉市の入込観光客数は、平成 26 年は約 2,200 万人と微減となったものの、新たな観光基本計画策定を見据えて実施した市民意識調査結果によると、外国人観光客の増加を実感しているとの回答が 73.4%に上り、本市においても、更なるインバウンド対応の充実が求められる状況にあると言えます。

2020 年（平成 32 年）東京オリンピック・パラリンピック夏季大会の開催に向けて、更なる観光客数の増加が見込まれる中、首都圏有数の観光都市である本市においては、受け入れ環境の整備が喫緊の課題となります。そこで、本市に課せられた課題を広く共有し、実現すべき目標とそれに向けたロードマップを築くため、平成 28～37 年度を計画年度とする新たな観光基本計画を策定するための委員会組織を立ち上げました。

具体的な取組みとしては、引き続きホームページ等による情報発信に努めるとともに、ハード事業として、周辺地域の観光名所や旧跡等を案内する地区案内板（極楽寺駅前、佐助一丁目交差点、下馬交差点、岐れ路交差点）を新たに設置しました。

広域連携による観光振興の取組みとしましては、横須賀市、逗子市、三浦市、葉山町及び関連団体による三浦半島観光連絡協議会に新たに加入し、サイクリングによる観光の魅力を伝える「自転車半島宣言」というパンフレットを発行したほか、タイ王国バンコクの政府機関や旅行会社を訪問し、インバウンドに係る情報収集やセールス活動を行うなど、圏域の魅力発信に努めました。

一方、厳しい財政環境下における事業財源確保の手段としましては、年間 1,200 万円の海水浴場ネーミングライツ料（※1）を収入するとともに、前年に引き続きインターネットを活用したクラウドファンディング（※2）による寄附金募集を行い、観光案内板を整備しました。

※1 施設の名称にスポンサー企業の社名やブランド名を付与する広告概念。鎌倉の海水浴場の名称は、公募した結果、「材木座海水浴場」、「由比ガ浜海水浴場」、「腰越海水浴場」に決定した。

※2 群衆（crowd）と資金調達（funding）を組み合わせた造語であり、ある目的、志などのため不特定多数の人から資金を集める行為又はそのためのネットサービスのことをいう。

1 アクションプラン各目標の主な進捗状況

第2期鎌倉市観光基本計画の3つの目標の主な進捗状況は、次のとおりです。

目標1 鎌倉らしさにこだわる観光の実現 (わが国を代表する観光都市鎌倉の質の向上)



修復観光ツーリズムシンポジウム

観光商工課ホームページによるリアルタイムな観光情報の掲載やツイッターを活用した観光情報の発信により、年間を通じて多くの方に鎌倉の魅力を提供するよう努めました。

また、市ホームページとの統合（平成27年4月～）に向けて、より充実した観光情報の提供と鎌倉らしさが伝わるホームページとなるようにコンテンツやレイアウトの構成について検討を行いました。

一方、鎌倉市観光協会では、市内に数多く残る歴史的建築物を活かした新たな観光のあり方を考えることをテーマに、修復観光ツーリズムシンポジウム（※3）を実施しました。

※3 扇湖山荘の魅力を地域内外の方々にとって頂く機会を設け、「修復ツーリズム」のモデルケースとなる体験プログラムや、扇湖山荘の活用について地域住民と有識者が対話するシンポジウムとして、平成27年3月28日（土）に開催された。

目標2 伝統と快適性が調和した観光空間の実現 (誰もが安全で快適に楽しめる観光空間の整備)

浄光明寺公衆トイレのユニバーサルデザイン化や市内ハイキングコースの整備等を行い、観光客がより快適に観光できるよう、観光基盤施設の整備を進めました。また、外国人受入環境整備事業として、近年増加している台湾からの観光客に対応するため、新たに中国語（繁体字）パンフレットを作成し、さらに、需要の高い英語、フランス語、スペイン語のパンフレットを増刷しました。

また、クラウドファンディングによって集めた寄附金を活用し、地区案内板4基（極楽寺駅前、佐助一丁目交差点、下馬交差点、岐れ路交差点）を新設しました。



極楽寺駅前に設置した地区案内板

目標3 地域が一体となった観光振興の連携と推進

市内の観光関連団体で構成されている「鎌倉市観光基本計画推進協議会」で、鎌倉の観光についての意見交換及び情報共有を図ったほか、更なる観光振興の推進に向け、鎌倉市観光基本計画推進協議会と観光基本計画の進捗状況を評価する「鎌倉市観光基本計画進行管理委員会」を合同で開催し、鎌倉市観光基本計画進行管理委員会から鎌倉市観光基本計画推進協議会へ観光基本計画の進捗状況について、提言をしていただきました。

また、次期観光基本計画の策定及び推進に向けた組織として「鎌倉市観光基本計画推進委員会」を新たに設置し、地域が一体となった観光振興を目指していくための議論を開始しました。

2 進行管理状況評価報告書〔平成 26 年度版〕の課題・提言に対する取組み

平成 25 年度の実績を評価・検証した結果を踏まえ、平成 26 年 9 月に鎌倉市観光基本計画進行管理委員会から提出された、進行管理状況評価報告書〔平成 26 年度版〕の「今後に向けての課題・提言」に対する主な取組み内容は、次のとおりです。

(1) 市民の理解を深める取組みの充実



昨今風紀の悪化が指摘されていた海水浴場について、近隣住民や関係機関など海水浴場を取り巻く多くの関係者の意見を広く聞く場を設け、飲酒や音響機器の使用禁止など海水浴場の砂浜での規制の方向性や、海の家営業に関するルールのあり方について協議を重ね、規制条例の改正と新たな海の家営業に関するルールを策定しました。

(2) 鎌倉ならではの観光の推進

鎌倉らしい観光を推進していくため、鎌倉まつりや鎌倉薪能など、市内で行われる主要イベント事業に負担金を支出し、観光振興の後押しを行いました。

鎌倉市観光協会では、市内に数多く残る歴史的建築物を活かした新たな観光のあり方を考えることをテーマに「修復観光ツーリズムシンポジウム」を実施し、鎌倉ならではの観光の模索を行いました。



(3) 情報発信の強化

CMS（※4）の導入により、簡単に記事の新規掲載、更新が可能となった観光商工課ホームページやリアルタイムな観光情報を発信できるツイッターを活用し、最新の観光情報の提供に努めました。

また、市ホームページとの統合（平成 27 年 4 月～）に向けて、より充実した観光情報の提供と鎌倉らしさが伝わるホームページとなるようにコンテンツやレイアウトの構成について検討を行いました。

※4 ウェブサイトの制作や運営を容易にするシステム及びそれを可能にするソフトウェアのこと。ウェブページを構成するコンテンツ（掲載内容）やレイアウト（割付け）、リンクなどの要素を分離することにより、それぞれの変更、更新、追加作業が他の要素に影響を及ぼさずに、複数ページやウェブサイト全体を一元的に管理できる。content(s) management system の略で、コンテンツ管理システムともいう。

(4) 観光地としての施設の整備



浄光明寺公衆トイレの改築を行い、観光客が快適に利用しやすいように洋式化などのユニバーサルデザイン化を図りました。

また、クラウドファンディングによって集めた寄附金を活用して、地区案内板を4箇所（極楽寺駅前、佐助一丁目交差点、下馬交差点、岐れ路交差点）に新設し、観光客の利便性の向上を図りました。

(5) 観光客の安全安心

「鎌倉市観光客等地震・津波対策ガイドライン」や「鎌倉市海水浴場避難誘導マニュアル」を活用し、観光客や海水浴客の避難体制の充実に努めました。

また、ハイキングコースの安全確保については、前年度に引き続きパトロールと危険箇所の把握を関係団体と行うとともに、委託業務により危険箇所の整備を実施しました。

(6) 訪日観光客の満足度向上

東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、増加が見込まれる外国人観光客の受入環境を整備するため、国の「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）」を活用したWi-Fi（公衆無線LAN）接続環境整備事業の企画・検討を行いました。

また、中国語（繁体字）のパンフレットを新規作成し、外国人観光客の観光案内の充実を図りました。



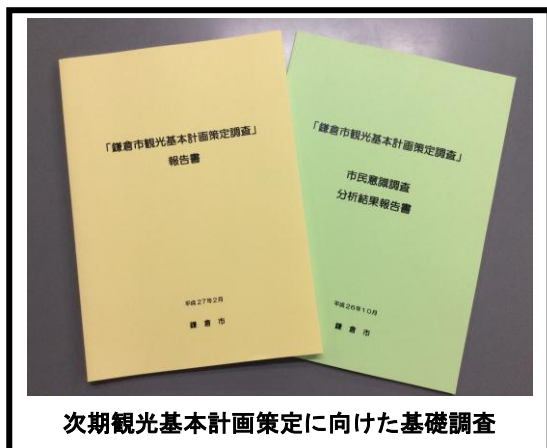
(7) 観光による経済波及効果のデータ集計

経済波及効果の参考指標として、年4回実施している来訪者アンケートの調査結果を基に、観光消費額を推計しました。

(8) 地域が一体となった観光振興の推進

「鎌倉市観光基本計画推進協議会」の開催を通じて、市内の観光関連団体が情報共有や意見交換を行うことで、地域一体となった観光振興の推進を図ったほか、個別部会として設置された「国際観光部会」では、部会での意見を踏まえ、外国語版ホームページのリニューアルなどの取組みと、観光案内所の充実・拡大など引き続き課題となる取組みを整理した上で検討結果報告書としてまとめました。

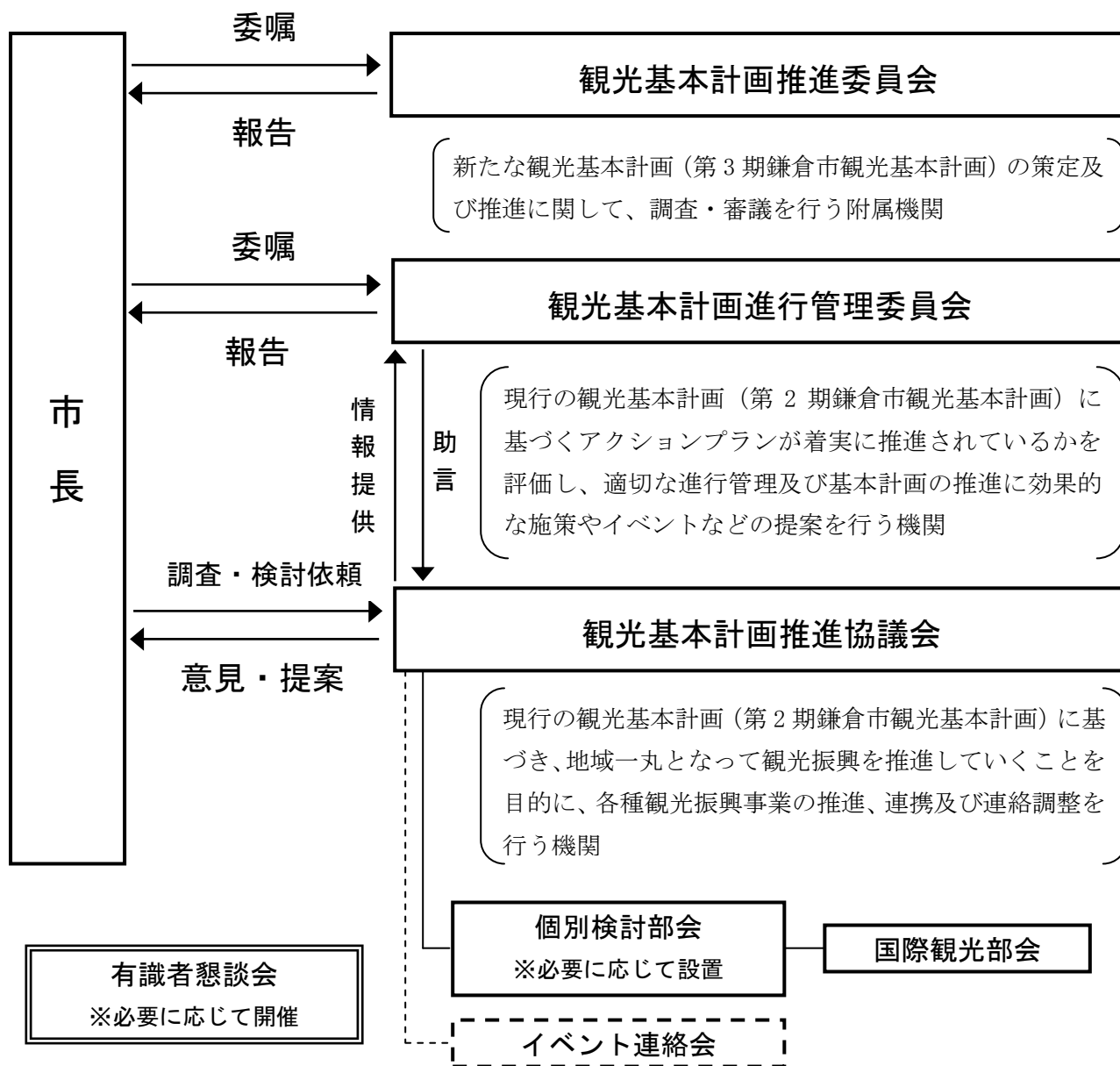
(9) 次期観光基本計画の策定



観光地として様々な課題に向き合い、かつ、東京オリンピック・パラリンピックの開催や人口構造の変化等を見据えた次期観光基本計画を策定することを目的として、観光基礎調査（市民意識調査及び外国人観光客意識調査）を実施しました。

また、観光基本計画の策定及び推進に関して、調査審議を行うことを目的に設置した「鎌倉市観光基本計画推進委員会」を開催し、策定に向けた議論を始めました。

3 平成 26 年度の推進体制



- * 平成 23 年度より鎌倉市観光振興推進本部を発展的解消させて、実務レベルの機動的な意見・情報交換の場である鎌倉市観光基本計画推進協議会を設置しました。
- * 平成 26 年度より新たな観光基本計画（第 3 期鎌倉市観光基本計画）の策定及び推進に関して、調査・審議を行う鎌倉市観光基本計画推進委員会を設置しました。
- * 具体的な事業について検討する必要がある場合は、それに応じて、観光基本計画推進協議会の下部組織である個別検討部会を設置し、詳細を検討します。

4 推進体制の活動状況

【鎌倉市観光基本計画推進委員会】

回数	日程	主な審議内容
第1回	平成27年3月24日（水）	・ 会議開催スケジュールについて ・ 鎌倉観光の現状について

【鎌倉市観光基本計画進行管理委員会】

回数	日程	主な審議内容
第20回	平成26年8月4日（月）	・ 平成25年度実績概要について ・ 進行管理状況評価報告書〔平成26年度版〕について
第21回	平成26年8月22日（金）	・ 鎌倉市の観光事情〔平成26年度版〕について
第22回	平成26年11月10日（月）	鎌倉市観光基本計画推進協議会との意見交換

【鎌倉市観光基本計画推進協議会】

回数	日程	主な審議内容
第8回	平成26年5月28日（水）	・ 海水浴場の風紀回復と安全確保について ・ 鎌倉市海水浴場の愛称決定について ・ 入込観光客数について ・ 観光関係予算について ・ 観光客からのご意見、ご要望について ・ 地震・津波対策の実施状況について
第9回	平成26年11月10日（月）	鎌倉市観光基本計画進行管理委員会との意見交換

【個別検討部会】

国際観光部会

今後見込まれる外国人観光客の増加に伴う、外国人観光客の受入環境の整備について検討するため、平成26年11月10日に会議を開催しました。

部会での意見を踏まえ、外国語版ホームページのリニューアルなどの取組みと、観光案内所の充実・拡大など引き続き課題となる取組みを整理した上で検討結果報告書としてまとめました。